

パス導入後の標準化されたケアの構造と過程を明確にし、以下の点を評価した。

- (1) ケアの比較
- (2) 診療記録のレビューから診療記録による質管理の妥当性を検証
- (3) 患者の質査定
- (4) ケアコスト

#### 4) 結果

- ① 総合的クリニカルパス (MDCPs) はケアの適正時期を示さなかった。いつどのようなケアを行うか、クリニカルインディケータや標準的なケアのコストの最適化を示すものではない。推測の外枠を示すのみであった。
- ② しかしケアの構造や過程、ケアの位置付け、診療記録によるケアの質、ケアの査定そしてケアコストの比較は可能であった。ケアは広範囲かつ綿密で、チーム医療にも効果的である。
- ③ 急性期病院のケア基準測定及び効果比較を詳細に行うことが可能になる。又より医療のエビデンスを確立する。

##### (1) サブ研究の結果と考察

#### A. 構造と過程

##### a) マネジメントオリエンテーション

i 病院のマネジメントオリエンテーションは予算と活動目標に注目しなければいけない  
ii 臨床家に限られたコスト内で資源を有効活用するように権限をゆだねると、かえって能力を狭めてしまうことになるため、管理者が資源活用のための予算とその処理に専任した方が効果的である。

iii コストの強調は可能であるが、質の情報提供は不十分である。

iv 構造や過程の発展を促進するには欠如がある。IT 情報も共通した管理目標を入手することはできても、臨床上の物事については手順のデータベース以外、アクセスすることはできなかつた。

v 臨床家も管理者も全体的なケア提供デザインは考えても、特別な場合については考えない傾向にある。

##### b) ケアの安定性

i 患者の回復能力によって、臨床での管理体制に変化が生じるが、虫垂切除術の患者において著しく、16通りの管理方法が存在した。TURP、帝王切開の順にそのばらつきは小さかった。

ii 49人の虫垂炎患者に対し、111人の医師と人の314看護婦がケアにあたったが、各々の医療者は10人以上の患者に一度もケアを行わない現状である。

##### c) 職種の統合

i 医師と看護婦のケア統合レベルは低い事はわかったが、病院を超えたそのパターンは見出せなかった。

ii 医師は、看護婦とのコミュニケーションでケアを決めるのではなく、個人主義に従来の方法で行う事が多い。看護婦に集合教育を行うことで、医師とのコミュニケーション図れ、組織化が促進された。

iii 臨床家達は MDCPs の仕事上のツールとしての見方が異なっていた。特に臨床の改良ツール、方針の適当性、さらに有用性に関して異なった。パスは臨床の見方に対し、重大な影響力をもつには根拠が不十分であった。

iv 総合パスは同一疾患のケアのばらつきが影響する問題を解決する。

## 5) 考察

### ケアの構成

i ケアの構成の違いは非常に高度だった。(手順、待ち時間、薬剤、検査の種類と量)

ii ケアの構成が一番異なっていたのは TURP で、最も異なるものと最も異なるものの療法を有していた。虫垂切除術と帝王切開の構成は比較的一貫していた。

### 診療記録によるケアの質

i スタッフのサインが読みにくいことがケアの妨げになっていたが、スタッフ番号を記入することで緩和された。

ii 診療記録によってケアの質が比較的保てるものに虫垂切除術がある。記録による質について一番の変化があるのは TURP である。帝王切開もまた TURP 程ではないが、比較的診療記録での質に変化があるものの一つである。

### 患者によってケアの質を査定する

i 患者は手順でケアの質の変化を査定する。患者が TURP をされる時患者が高齢なら、できるだけ早期に退院できるように実践しなければいけない。虫垂炎患者は他の患者と違いがないか、相対的にケアを見ていく必要がある。対照的に帝王切開の場合は自分のケアを絶対的に判定していく。

### 財政管理とコスト

i 3つの研究手順は病院での最も経済効率の良いコストを示した。

ii 5つの病院では平均的な疾患毎の平均コストを算出した

iii 病棟、手順、診療コスト状況によって最もコスト構成に差がある。

iv 結果が異なった背景にはコストや状況の効率の違いはガイドにそって行った結果の比較が不十分であるからである。

## 6) 結論

臨床過程の学際的な制度化はヘルスケアに関わるすべての専門家の協力を必要とする。臨床家と管理者は各々の合意の下で結果に焦点を絞ったケア決定を行っていくことが大切。そしてそれは、技術及びコストの面において最適なケアであるように調整され、支援される必要がある。このような取り組みを行っている臨床家や管理者は金銭的報酬と臨床上の報酬とに結びつくべきである。これらの技術によって、ケア過程、質、コストを統合することができる。

# 大股骨頸部骨折の手術を受ける様へ

〔人工骨頭・骨セメントを使用しない場合〕

私たちは 1. 入院や手術に対する不安を軽減し、最良の状態です手術が受けられるようお伝えします。  
 2. 手術後の苦痛を軽減し、順調に回復し安心して退院できるようにお伝えします。  
 《これは基本的なスケジュールです、患者様の病状、年齢、手術曜日などにより変更することがあります。》

手術前日 /	手術当日 /	術後1日目 /	2日 /	3日 /	4日 /	5日 /	6日 /	7日 /	8~13日	2週	3週	4週	5週
<b>注射点滴薬</b> ・点滴が始まります ・手術室入室30分前に注射をします。 ・中止の指示がないかぎり服用	・抗生剤の点滴が1日2回朝・夕あります。 <b>術後の痛み</b> → 注射・坐薬・薬など状態に応じて使用します。	・手術をする部位の消毒をします。 ・16時頃点滴をします。 ・抗生剤のテストをします。	・医師によるガーゼ交換があります。 ・血酸検査	・血酸検査	・レントゲン・血酸検査	・レントゲン・血酸検査	・レントゲン・血酸検査	・レントゲン・血酸検査	・レントゲン・血酸検査	・レントゲン・血酸検査	・レントゲン・血酸検査	・レントゲン・血酸検査	・レントゲン・血酸検査
<b>処置</b> ・手術をする部位の毛を剃ります。 ・夕食後より禁食 ・水は夜9時まで飲めません。	・手術をする部位の消毒をします。 ・朝より食事が始まります。	・水や食事をとることはできません。	・尿管を出したための管が入っています。	・尿管を抜きます。〔車イスでトイレに行きます。夜は尿器を使用〕	・尿管を抜きます。〔車イスでトイレに行きます。夜は尿器を使用〕	・尿管を抜きます。〔車イスでトイレに行きます。夜は尿器を使用〕	・尿管を抜きます。〔車イスでトイレに行きます。夜は尿器を使用〕	・尿管を抜きます。〔車イスでトイレに行きます。夜は尿器を使用〕	・尿管を抜きます。〔車イスでトイレに行きます。夜は尿器を使用〕	・尿管を抜きます。〔車イスでトイレに行きます。夜は尿器を使用〕	・尿管を抜きます。〔車イスでトイレに行きます。夜は尿器を使用〕	・尿管を抜きます。〔車イスでトイレに行きます。夜は尿器を使用〕	・尿管を抜きます。〔車イスでトイレに行きます。夜は尿器を使用〕
<b>清潔排泄</b> ・タオルで体を拭きます	・タオルで体を拭きます	・タオルで体を拭きます	・タオルで体を拭きます	・タオルで体を拭きます	・タオルで体を拭きます	・タオルで体を拭きます	・タオルで体を拭きます	・タオルで体を拭きます	・タオルで体を拭きます	・タオルで体を拭きます	・タオルで体を拭きます	・タオルで体を拭きます	・タオルで体を拭きます
<b>安静</b> ・ベット上の安静ですが痛みがなければベットを上げて体を起こすことができます。 ・動かすことをしないと関節は固まります〔褥瘡〕 ・筋力も落ちます。どんどん動かしましょう。 ・健康な足 自由に動かして下さい。 ・手術側の足 足首を回す・足首を前後に曲げる	・ベット上の安静ですが痛みがなければベットを上げて体を起こすことができます。 ・動かすことをしないと関節は固まります〔褥瘡〕 ・筋力も落ちます。どんどん動かしましょう。 ・健康な足 自由に動かして下さい。 ・手術側の足 足首を回す・足首を前後に曲げる	・ベット上の安静ですが痛みがなければベットを上げて体を起こすことができます。 ・動かすことをしないと関節は固まります〔褥瘡〕 ・筋力も落ちます。どんどん動かしましょう。 ・健康な足 自由に動かして下さい。 ・手術側の足 足首を回す・足首を前後に曲げる	・ベット上の安静ですが痛みがなければベットを上げて体を起こすことができます。 ・動かすことをしないと関節は固まります〔褥瘡〕 ・筋力も落ちます。どんどん動かしましょう。 ・健康な足 自由に動かして下さい。 ・手術側の足 足首を回す・足首を前後に曲げる	・ベット上の安静ですが痛みがなければベットを上げて体を起こすことができます。 ・動かすことをしないと関節は固まります〔褥瘡〕 ・筋力も落ちます。どんどん動かしましょう。 ・健康な足 自由に動かして下さい。 ・手術側の足 足首を回す・足首を前後に曲げる	・ベット上の安静ですが痛みがなければベットを上げて体を起こすことができます。 ・動かすことをしないと関節は固まります〔褥瘡〕 ・筋力も落ちます。どんどん動かしましょう。 ・健康な足 自由に動かして下さい。 ・手術側の足 足首を回す・足首を前後に曲げる	・ベット上の安静ですが痛みがなければベットを上げて体を起こすことができます。 ・動かすことをしないと関節は固まります〔褥瘡〕 ・筋力も落ちます。どんどん動かしましょう。 ・健康な足 自由に動かして下さい。 ・手術側の足 足首を回す・足首を前後に曲げる	・ベット上の安静ですが痛みがなければベットを上げて体を起こすことができます。 ・動かすことをしないと関節は固まります〔褥瘡〕 ・筋力も落ちます。どんどん動かしましょう。 ・健康な足 自由に動かして下さい。 ・手術側の足 足首を回す・足首を前後に曲げる	・ベット上の安静ですが痛みがなければベットを上げて体を起こすことができます。 ・動かすことをしないと関節は固まります〔褥瘡〕 ・筋力も落ちます。どんどん動かしましょう。 ・健康な足 自由に動かして下さい。 ・手術側の足 足首を回す・足首を前後に曲げる	・ベット上の安静ですが痛みがなければベットを上げて体を起こすことができます。 ・動かすことをしないと関節は固まります〔褥瘡〕 ・筋力も落ちます。どんどん動かしましょう。 ・健康な足 自由に動かして下さい。 ・手術側の足 足首を回す・足首を前後に曲げる	・ベット上の安静ですが痛みがなければベットを上げて体を起こすことができます。 ・動かすことをしないと関節は固まります〔褥瘡〕 ・筋力も落ちます。どんどん動かしましょう。 ・健康な足 自由に動かして下さい。 ・手術側の足 足首を回す・足首を前後に曲げる	・ベット上の安静ですが痛みがなければベットを上げて体を起こすことができます。 ・動かすことをしないと関節は固まります〔褥瘡〕 ・筋力も落ちます。どんどん動かしましょう。 ・健康な足 自由に動かして下さい。 ・手術側の足 足首を回す・足首を前後に曲げる	・ベット上の安静ですが痛みがなければベットを上げて体を起こすことができます。 ・動かすことをしないと関節は固まります〔褥瘡〕 ・筋力も落ちます。どんどん動かしましょう。 ・健康な足 自由に動かして下さい。 ・手術側の足 足首を回す・足首を前後に曲げる	・ベット上の安静ですが痛みがなければベットを上げて体を起こすことができます。 ・動かすことをしないと関節は固まります〔褥瘡〕 ・筋力も落ちます。どんどん動かしましょう。 ・健康な足 自由に動かして下さい。 ・手術側の足 足首を回す・足首を前後に曲げる
<b>説明指導</b> ・担当の医師より手術説明 ・麻酔科医師の訪問 ・看護婦より術前・術後の説明	・医師より術後の説明 ・家族の方は待合室でお待ち下さい。	・医師より術後の説明 ・家族の方は待合室でお待ち下さい。	・医師より術後の説明 ・家族の方は待合室でお待ち下さい。	・医師より術後の説明 ・家族の方は待合室でお待ち下さい。	・医師より術後の説明 ・家族の方は待合室でお待ち下さい。	・医師より術後の説明 ・家族の方は待合室でお待ち下さい。	・医師より術後の説明 ・家族の方は待合室でお待ち下さい。	・医師より術後の説明 ・家族の方は待合室でお待ち下さい。	・医師より術後の説明 ・家族の方は待合室でお待ち下さい。	・医師より術後の説明 ・家族の方は待合室でお待ち下さい。	・医師より術後の説明 ・家族の方は待合室でお待ち下さい。	・医師より術後の説明 ・家族の方は待合室でお待ち下さい。	・医師より術後の説明 ・家族の方は待合室でお待ち下さい。
<b>その他</b> ・眠れない時は早めにお知らせ下さい ・術後の経過により個人差があります。ご不明な点は医師・看護婦におたずね下さい。	・退院までの医療費 負担は 2割 { 万円 } 3割 { 万円 } 老人 { 万円 } 程度です。	・退院までの医療費 負担は 2割 { 万円 } 3割 { 万円 } 老人 { 万円 } 程度です。	・退院までの医療費 負担は 2割 { 万円 } 3割 { 万円 } 老人 { 万円 } 程度です。	・退院までの医療費 負担は 2割 { 万円 } 3割 { 万円 } 老人 { 万円 } 程度です。	・退院までの医療費 負担は 2割 { 万円 } 3割 { 万円 } 老人 { 万円 } 程度です。	・退院までの医療費 負担は 2割 { 万円 } 3割 { 万円 } 老人 { 万円 } 程度です。	・退院までの医療費 負担は 2割 { 万円 } 3割 { 万円 } 老人 { 万円 } 程度です。	・退院までの医療費 負担は 2割 { 万円 } 3割 { 万円 } 老人 { 万円 } 程度です。	・退院までの医療費 負担は 2割 { 万円 } 3割 { 万円 } 老人 { 万円 } 程度です。	・退院までの医療費 負担は 2割 { 万円 } 3割 { 万円 } 老人 { 万円 } 程度です。	・退院までの医療費 負担は 2割 { 万円 } 3割 { 万円 } 老人 { 万円 } 程度です。	・退院までの医療費 負担は 2割 { 万円 } 3割 { 万円 } 老人 { 万円 } 程度です。	・退院までの医療費 負担は 2割 { 万円 } 3割 { 万円 } 老人 { 万円 } 程度です。

NO 1

様

人工骨頭置換 セメント

		月 日	月 日	月 日
		術後1日目 (KT 4検 BP2回)	術後2日目 (KT 4検 BP2回)	術後3日目 (KT 4検 BP2回)
P	90			
BP	180			
I	38.5			
	80			
	160			
	38			
	70			
	140			
	37.5			
	60			
	120			
	37			
	50			
	100			
	36.5			
	40			
	80			
	36			
術前項目	<input type="checkbox"/> 尿量 ( ) ml / 便 / 常食 <input type="checkbox"/> 五分粥 / 軟食 (常食) / 常食 <input type="checkbox"/> ベッドup60° / ベッドサイドリハ <input type="checkbox"/> エビ			
<input type="checkbox"/> 抗生剤テスト	<input type="checkbox"/> 尿量 ( ) ml / 便 常食			
<input type="checkbox"/> OZロバンスポリ	ドレーン 抜けたら車椅子			
<input type="checkbox"/> 術前ムンテラ	ベッドアップ90°			
<input type="checkbox"/> 同意書	起立 荷重free			
<input type="checkbox"/> 物品説明	<input type="checkbox"/> エビ 抜去			
<input type="checkbox"/> CP説明	<input type="checkbox"/> ドレーン 確認			
<input type="checkbox"/> MAP				
<input type="checkbox"/> 行き先 (自宅or転院)				
術当日補液	①ボルタレン坐 ( ) mg +アタ25mg IM ②レパタン坐 ( ) mg ●高血圧時 ~ 180 アダラート ( ) mg 舌下 ●低血圧時 90 ~ エフェドリン5mg IV ●不眠時 レンドルミン ( ) T内服			
1. ヴィーンF500				
レプチ2m				
2. ソリタT3 500				
トランサミンs10ml				
術当日抗生剤	<input type="checkbox"/> 回診時創部確認 <input type="checkbox"/> 清拭 <input type="checkbox"/> 消毒 <input type="checkbox"/> 洗髪 <input type="checkbox"/> 自力体向			
<input type="checkbox"/> 前投時 ( )	<input type="checkbox"/> 清拭 <input type="checkbox"/> 消毒 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> F			
<input type="checkbox"/> 帰室時 ( )	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> F			
疼痛の表記	# 苦痛の軽減 # 合併症の有無 (ない場合check) ある場合は下記に記載 ( <input type="checkbox"/> 胸痛 <input type="checkbox"/> 腰痛 <input type="checkbox"/> 嘔吐 <input type="checkbox"/> 浮腫 <input type="checkbox"/> その他			
増強: ++				
有り: +				
無し: -				
看護特記事項				
パリアンス	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 無			
看護婦サイン	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> F			
担当PT	<input type="checkbox"/> ROM, 筋トレ			
薬歴	●尿量 100ml / 4以下 ラジックス ( ) iv ●嘔気嘔吐時 プリンペラン1A iv ●疼痛時 ①ボルタレン坐 ( ) mg +アタ25mg IM ②レパタン坐 ( ) mg ●高血圧時 ~ 180 アダラート ( ) mg 舌下 ●低血圧時 90 ~ エフェドリン5mg IV ●不眠時 レンドルミン ( ) T内服 ●便秘時 アローゼン0.5g内服 ●不穏時 ホリゾン5mg I.m.			
パリアンスの場合	状態を特記事項に明記			

表1 在院日数と調査項目との相関

項目	データの性質	相関係数	有意確率(両側)	N
術後日数		0.983	0.0000	114
退院指導までの日数		0.835	0.0000	72
リハビリ日数		0.782	0.0000	114
1本杖歩行開始術後日数		0.723	0.0000	70
レセプト総点数		0.713	0.0000	114
全荷重開始許可から退院までの日数		0.660	0.0000	104
平行棒歩行開始から退院までの日数		0.654	0.0000	97
1本杖歩行から退院までの日数		0.604	0.0000	70
検査レセプト総点数		0.388	0.0000	114
自宅退院か否か	自宅:1 自宅以外:0	0.389	0.0000	111
画像診断レセプト総点数		0.359	0.0001	114
退院指導料の有無	有:1 無:2	-0.343	0.0002	114
全荷重平行棒歩行開始術後日数		0.356	0.0003	97
退院時の排泄の自立度	自立ほど低値 7段階尺度	-0.311	0.0009	111
出血量		0.300	0.0012	114
術後合併症	有:1 無:0	0.297	0.0013	114
退院時の歩行能力	自立ほど低値 4段階尺度	-0.297	0.0013	114
痴呆の有無	有:1 無:2	0.291	0.0017	114
入院前の介護状況	自宅自立:1 自宅介護:2 自宅外:3	-0.282	0.0024	114
入院期間中の別の手術	有:1 無:0	0.276	0.0029	114
全荷重許可までの術後日数		0.282	0.0029	109
術前の目標	自立ほど低値 4段階尺度	-0.287	0.0030	105
注射レセプト総点数		0.274	0.0032	114
譫妄の有無	有:1 無:2	0.265	0.0043	114
尿路感染	有:1 無:0	0.246	0.0083	114
何らかの感染	有:1 無:0	0.244	0.0088	114
出血/体重		0.241	0.0117	109
術前後の歩行能力の変化	術後レベル-術前レベル	-0.232	0.0129	114
パスの使用の有無	有:1 無:2	-0.232	0.0134	113
抗生剤レセプト総点数		0.231	0.0140	113
セメントの有無	有:1 無:2	0.210	0.0249	114
リハビリ終了時歩行能力評価	自立ほど低値 8段階尺度	-0.213	0.0250	111
輸血の有無	有:1 無:2	-0.208	0.0261	114
手術時間		-0.198	0.0347	114
老人リハビリ計画評価料の有無	有:1 無:2	0.218	0.0370	92
受傷から入院までの日数		-0.199	0.0370	110

項目	データの性質	相関係数	有意確率(両側)	N
褥瘡	有:1 無:0	0.187	0.0458	114
患者への退院指導	有:1 無:2	-0.223	0.0499	78
硬膜外麻酔の使用の有無	有:1 無:2	0.166	0.0782	114
術後抗生剤使用日数		0.163	0.0833	114
転倒・転落回数		0.162	0.0856	113
受傷前の歩行能力	自立ほど低値 4段階尺度	-0.148	0.1161	114
独居	有:1 無:0	0.139	0.1397	114
術後抗生剤種類数		0.137	0.1462	114
退院時リハビリ指導料の有無	有:1 無:2	0.136	0.1484	114
難聴	有:1 無:0	-0.121	0.2079	110
リハ処方術後日数		0.116	0.2279	109
鎮痛剤未使用	未使用:1 使用:0	0.111	0.2398	114
CRP値		0.131	0.2744	72
静脈ライン留置日数		0.103	0.2756	113
術後創部感染	有:1 無:0	0.102	0.2819	114
術後リハビリ処方までの日数		-0.093	0.3363	109
手術レセプト点数		0.086	0.3650	114
他の整形外科疾患	有:1 無:2	-0.078	0.4072	114
全抜糸までの日数		0.072	0.4578	108
家族への退院指導	有:1 無:2	-0.079	0.5133	71
膀胱留置カテーテル術後留置日数		-0.058	0.5409	113
早期理学療法料日数(30日以内)		0.055	0.5620	113
創部ドレーン留置日数		-0.054	0.5703	113
端坐位実施日		0.052	0.5873	111
骨折回数		0.049	0.6028	114
年齢		-0.039	0.6836	114
性別	男性:1 女性:2	0.034	0.7170	114
術前日数		-0.034	0.7184	114
人工骨頭材料費		-0.023	0.8044	114
術後鎮痛剤の総使用回数		0.012	0.8993	113
心疾患の有無	有:1 無:2	0.004	0.9657	114
膀胱留置カテーテル留置日数		-0.003	0.9763	111
糖尿病の有無	有:1 無:2	-0.001	0.9874	114

表2 退院時歩行能力と調査項目の相関

項目	データの性質	相関係数	有意確率(両側)	N
退院時の排泄の自立度	自立ほど低値 7段階尺度	0.793	0.0000	111
リハビリ終了時歩行能力評価	自立ほど低値 8段階尺度	0.681	0.0000	111
自宅退院か否か	有:1 無:0	-0.672	0.0000	111
入院前の介護状況	自宅自立:1 自宅介護:2 自宅外:3	0.612	0.0000	114
術前の目標	自立ほど低値 4段階尺度	0.603	0.0000	105
譫妄の有無	有:1 無:2	-0.496	0.0000	114
受傷前の歩行能力	自立ほど低値 4段階尺度	0.494	0.0000	114
膀胱留置カテーテル術後留置日数		0.487	0.0000	113
リハビリ日数		-0.467	0.0000	114
痴呆の有無	有:1 無:2	-0.424	0.0000	114
膀胱留置カテーテル留置日数		0.411	0.0000	111
受傷前の排泄状況	自立ほど低値 7段階尺度	0.399	0.0000	114
退院指導料の有無	有:1 無:2	0.384	0.0000	114
患者への退院指導	有:1 無:2	0.404	0.0002	78
術後日数		-0.309	0.0008	114
在院日数		-0.297	0.0013	114
検査レセプト総点数		0.264	0.0045	114
術後合併症	有:1 無:0	0.262	0.0049	114
退院指導までの日数		-0.317	0.0067	72
何らかの感染	有:1 無:0	0.246	0.0082	114
年齢		0.245	0.0086	114
静脈ライン留置日数		0.234	0.0127	113
術後抗生剤使用日数		0.230	0.0139	114
全荷重開始許可から退院までの日数		-0.225	0.0215	104
注射レセプト総点数		0.211	0.0242	114
平行棒歩行から退院までの日数		-0.228	0.0245	97
褥瘡	有:1 無:0	0.201	0.0323	114
退院時リハビリ指導料の有無	有:1 無:2	0.196	0.0366	114
尿路感染	有:1 無:0	0.184	0.0500	114
受傷から入院までの日数		0.173	0.0707	110
出血量		-0.168	0.0744	114
リハビリ処方の術後日数		0.166	0.0837	109
1本杖歩行開始術後日数		0.204	0.0898	70
端坐位実施日		0.160	0.0932	111
家族への退院指導	有:1 無:2	0.187	0.1188	71
術後抗生剤種類数		0.146	0.1202	114



項目	データの性質	相関係数	有意確率(両側)	N
創部ドレーン留置日数		0.142	0.1345	113
抗生剤レセプト総点数		0.138	0.1442	113
他の整形外科疾患の有無	有:1 無:2	0.131	0.1658	114
全荷重平行棒歩行開始術後日数		0.134	0.1912	97
一本杖歩行から退院までの日数		-0.157	0.1932	70
レセプト総点数		-0.113	0.2328	114
培養の有無	有:1 無:2	-0.106	0.2603	114
骨折回数		-0.103	0.2742	114
術後創部感染	有:1 無:0	0.103	0.2749	114
入院期間中の別の手術の有無	有:1 無:0	0.102	0.2792	114
全抜糸までの日数		-0.105	0.2792	108
CRP値		0.126	0.2900	72
出血/体重		-0.085	0.3816	109
独居	有:1 無:0	0.065	0.4899	114
輸血の有無	有:1 無:2	0.063	0.5069	114
手術時間		0.058	0.5381	114
難聴	有:1 無:0	-0.050	0.6055	110
性別		0.048	0.6117	114
人工骨頭材料費		-0.044	0.6414	114
糖尿病の有無	有:1 無:2	-0.038	0.6844	114
画像診断レセプト総点数		-0.038	0.6870	114
早期理学療法料日数(30日以内)		-0.036	0.7060	113
老人リハビリ計画評価料	有:1 無:2	-0.039	0.7120	92
セメントの有無	有:1 無:2	0.030	0.7529	114
手術レセプト点数		-0.027	0.7757	114
パスの使用の有無	有:1 無:2	0.026	0.7857	113
術後鎮痛剤の総使用回数		-0.022	0.8174	113
術前日数		-0.019	0.8370	114
硬膜外麻酔の使用の有無	有:1 無:2	-0.017	0.8576	114
心疾患の有無	有:1 無:2	0.016	0.8625	114
転倒・転落回数		-0.004	0.9666	113
全荷重許可までの術後日数		0.002	0.9815	109
鎮痛剤未使用	未使用:1 使用:0	0.000	1.0000	114

表3 レセプト総点数と調査項目との相関

項目	データの性質	相関係数	有意確率(両側)	N
在院日数		0.713	0.0000	114
術後日数		0.697	0.0000	114
手術レセプト点数		0.614	0.0000	114
リハビリ日数		0.575	0.0000	114
1本杖歩行開始術後日数		0.561	0.0000	70
人工骨頭材料費		0.477	0.0000	114
画像診断レセプト総点数		0.448	0.0000	114
全荷重平行棒歩行開始術後日数		0.465	0.0000	97
セメントの有無	有:1 無:2	0.391	0.0000	114
退院指導までの日数		0.464	0.0000	72
検査レセプト総点数		0.371	0.0000	114
入院期間中の別の手術の有無	有:1 無:0	0.333	0.0003	114
全荷重許可までの術後日数		0.339	0.0003	109
平行棒歩行から退院までの日数		0.336	0.0008	97
注射レセプト総点数		0.304	0.0010	114
全荷重開始許可から退院までの日数		0.317	0.0010	104
早期理学療法料日数(30日以内)		0.279	0.0030	113
自宅退院か否か	有:1 無:0	0.275	0.0034	111
輸血の有無	有:1 無:2	-0.269	0.0039	114
一本杖歩行から退院までの日数		0.334	0.0047	70
尿路感染	有:1 無:0	0.222	0.0176	114
術後合併症	有:1 無:0	0.208	0.0265	114
創部ドレーン留置日数		-0.199	0.0346	113
何らかの感染	有:1 無:0	0.198	0.0347	114
痴呆の有無	有:1 無:2	0.181	0.0540	114
難聴	有:1 無:0	-0.183	0.0562	110
歩行能力の変化	術後レベル-術前レベル	-0.171	0.0692	114
全抜糸までの日数		-0.172	0.0748	108
退院時の排泄の自立度	自立ほど低値 7段階尺度	-0.152	0.1116	111
入院前の介護状況	自宅自立:1 自宅介護:2 自宅外:3	-0.149	0.1140	114
転倒・転落回数		0.136	0.1523	113
抗生剤レセプト総点数		0.131	0.1654	113
退院時リハビリ指導料	有:1 無:2	0.118	0.2115	114
端坐位実施日		0.115	0.2278	111
退院時の歩行能力	自立ほど低値 4段階尺度	-0.113	0.2328	114
出血量		0.109	0.2467	114
手術時間		-0.107	0.2575	114

項目	データの性質	相関係数	有意確率(両側)	N
培養の有無	有:1 無:2	-0.105	0.2668	114
術前の目標	自立ほど低値 4段階尺度	-0.107	0.2793	105
患者への退院指導	有:1 無:2	-0.121	0.2926	78
家族への退院指導	有:1 無:2	-0.123	0.3050	71
退院指導料	有:1 無:2	-0.097	0.3061	114
出血/体重		0.098	0.3094	109
術後抗生剤種類数		0.092	0.3308	114
老人リハビリ計画評価料	有:1 無:2	0.101	0.3390	92
褥瘡	有:1 無:0	0.084	0.3729	114
他の整形外科疾患の有無	有:1 無:2	-0.076	0.4241	114
独居	有:1 無:0	0.074	0.4321	114
リハビリ終了時歩行能力評価	自立ほど低値 8段階尺度	-0.074	0.4381	111
術後抗生剤使用日数		0.067	0.4804	114
リハビリ処方の術後日数		0.048	0.6238	109
受傷前の排泄状況	自立ほど低値 7段階尺度	0.045	0.6373	114
術後創部感染	有:1 無:0	0.036	0.7015	114
性別		-0.033	0.7296	114
術後鎮痛剤の総使用回数		-0.032	0.7328	113
膀胱留置カテーテル術後留置日		-0.029	0.7602	113
骨折回数		0.028	0.7713	114
受傷から入院までの日数		-0.027	0.7777	110
心疾患の有無	有:1 無:2	-0.024	0.8007	114
年齢		-0.023	0.8090	114
糖尿病の有無	有:1 無:2	-0.016	0.8651	114
鎮痛剤未使用	未使用:1 使用:0	-0.014	0.8854	114
術前日数		-0.012	0.8987	114
譫妄の有無	有:1 無:2	0.010	0.9132	114
膀胱留置カテーテル留置日数		-0.010	0.9139	111
CRP値		0.012	0.9185	72
パスの使用の有無	有:1 無:2	-0.008	0.9309	113
硬膜外麻酔の使用の有無	有:1 無:2	0.007	0.9372	114
静脈ライン留置日数		-0.003	0.9735	113
受傷前の歩行能力	自立ほど低値 4段階尺度	0.002	0.9819	114

表4 術後感染症と調査項目との相関

項目	データの性質	相関係数	有意確率(両側)	N
検査レセプト総点数		0.434	0.0000	114
CRP値		0.403	0.0004	72
培養の有無	有:1 無:2	-0.316	0.0006	114
1本杖歩行開始術後日数		0.361	0.0021	70
膀胱留置カテーテル術後留置日数		0.269	0.0039	113
リハビリ終了時歩行能力評価	自立ほど低値 8段階尺度	0.254	0.0071	111
退院時の歩行能力	自立ほど低値 4段階尺度	0.246	0.0082	114
在院日数		0.244	0.0088	114
術後抗生剤種類数		0.242	0.0094	114
退院時の排泄の自立度	自立ほど低値 7段階尺度	0.245	0.0096	111
術後日数		0.232	0.0130	114
出血/体重		0.228	0.0170	109
抗生剤レセプト総点数		0.220	0.0192	113
歩行能力の変化	術後レベル-術前レベル	0.215	0.0214	114
膀胱留置カテーテル留置日数		0.214	0.0240	111
出血量		0.209	0.0258	114
入院期間中の別の手術の有無	有:1 無:0	0.202	0.0308	114
入院前の介護状況	自宅自立:1 自宅介護:2 自宅外:3	0.198	0.0344	114
レセプト総点数		0.198	0.0347	114
静脈ライン留置日数		0.192	0.0416	113
画像診断レセプト総点数		0.189	0.0446	114
術後抗生剤使用日数		0.188	0.0451	114
全荷重開始許可から退院までの日数		0.186	0.0591	104
注射レセプト総点数		0.172	0.0668	114
術前の目標	自立ほど低値 4段階尺度	0.178	0.0697	105
老人リハビリ計画評価料	有:1 無:2	0.184	0.0790	92
平行棒歩行から退院までの日数		0.178	0.0811	97
人工骨頭材料費		-0.158	0.0942	114
術前日数		-0.154	0.1008	114
輸血の有無	有:1 無:2	-0.146	0.1201	114
全荷重平行棒歩行開始術後日数		0.159	0.1208	97
退院時リハビリ指導料	有:1 無:2	0.143	0.1288	114
年齢		0.142	0.1315	114
早期理学療法料日数(30日以内)		0.143	0.1320	113
褥瘡	有:1 無:0	0.138	0.1429	114
受傷前の歩行能力	自立ほど低値 4段階尺度	0.117	0.2156	114
独居	有:1 無:0	0.123	0.1935	114

項目	データの性質	相関係数	有意確率 (両側)	N
リハビリ日数		0.114	0.2261	114
手術時間		-0.114	0.2275	114
硬膜外麻酔の使用の有無	有:1 無:2	0.111	0.2398	114
糖尿病の有無	有:1 無:2	-0.095	0.3160	114
心疾患の有無	有:1 無:2	0.094	0.3180	114
端坐位実施日		-0.091	0.3437	111
創部ドレーン留置日数		0.088	0.3536	113
鎮痛剤未使用	未使用:1 使用:0	0.083	0.3779	114
一本杖歩行から退院までの日数		0.099	0.4139	70
自宅退院か否か	有:1 無:0	-0.077	0.4204	111
受傷前の排泄状況	自立ほど低値 7段階尺度	0.067	0.4779	114
難聴	有:1 無:0	0.068	0.4811	110
手術レセプト点数		-0.058	0.5410	114
痴呆の有無	有:1 無:2	0.051	0.5891	114
家族への退院指導	有:1 無:2	0.064	0.5979	71
患者への退院指導	有:1 無:2	0.058	0.6166	78
剃毛		0.045	0.6328	113
パスの使用の有無	有:1 無:2	-0.042	0.6592	113
受傷から入院までの日数		0.036	0.7053	110
退院指導までの日数		0.043	0.7172	72
全荷重許可までの術後日数		0.033	0.7372	109
譫妄の有無	有:1 無:2	0.029	0.7609	114
転倒・転落回数		-0.028	0.7705	113
セメントの有無	有:1 無:2	0.024	0.8005	114
全抜糸までの日数		-0.020	0.8337	108
リハビリ処方の術後日数		0.018	0.8554	109
術後鎮痛剤の総使用回数		0.014	0.8789	113
性別		-0.011	0.9077	114
骨折回数		-0.004	0.9623	114
抗生剤投与から手術開始までの時間		0.004	0.9667	108